

あゆみ学園だより

2025年1月号
福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

新年あけましておめでとうございます。みなさま、冬休みはいかがお過ごしでしたか。今年度は大掃除に加え、引越し準備も重なり慌ただしい年末となり、年始は暦も相まってより一層、あっという間に過ぎたように感じました。残り3ヶ月、子ども達がわくわくするような体験を重ねていきましょう！本年もどうぞよろしくお願いいたします。秋の終わりに、単独部門はチューリップの球根を植えました。寒い中、球根はどうなっているのだろうかと心配でしたが、この期間は土の中で根をはっているそうです。しっかり根が育つと2月頃から芽を出し、卒園式には可愛い花を咲かせてくれる予定です。子ども達が球根のお世話をしながら、一緒に色々な育ちの根を張っているイメージを持ちました。春の芽生え、開花を楽しみにしてください。

副園長 松元 美智子



行事予定



6	月	単独通園開始
8	水	親子通園開始
21	火	避難訓練
24	金	保護者会・グループ懇談（りす） OT 学習会（りす）
28	火	グループ懇談（ぞう）



冬の感染症とワクチンと感染症情報

2020年夏から全国的にマイコプラズマ肺炎が大流行しています。長く続く咳や発熱が主な症状で、幼児～小学生に多く発症します。痰はあまり出ませんが、胸のレントゲン写真を撮ると白い影がみえます。潜伏期は2-3週間、主に飛沫感染です。

手足口病も2024年から多く発生しています。原因になるウイルスは複数ありますので2回かかることもあります。2024年は2つのタイプが流行ったようです。

インフルエンザはA型の2種（H1N1、H3N2）とB型の1つか2つが流行することが多く、ワクチンには複数のインフルエンザに対応できるようにしてあります。注射のワクチン（2回接種）とは別に、今シーズンから経鼻生ワクチン（1回接種）が2歳～18歳で使用できるようになりました。罹ってしまった時には抗インフルエンザ薬があります。発熱日を0日として発熱後最低5日、解熱してから3日（大人は2日）は園を休みます。感染症にかかった後、いつから登園が可能かは事前に看護師に電話で確認してください。

年長児さんは、母子健康手帳の予防接種の記載欄を確認して、麻しん風しん混合生ワクチン（MRワクチン）の2回目を忘れずに3月までに接種を済ませましょう。ついでにおたふくかぜワクチン（任意接種）など他のワクチンの接種歴も確認しましょう。

福岡市でどのような感染症が流行しているかを知りたい時には、「福岡県医師会ホームページ → 県民の皆様 → 花粉・感染症 → インフルエンザ・感染症 → 疾患別推移グラフ」の順に聞いていくと流行状況を見ることができますので参考にしてください。

（小児科医 宮崎千明）

